

# IRIS OHYAMA

## 上給水ハイブリッド加湿器

室内・家庭用

型番 AHM-HU55A



## 取扱説明書

### もくじ

#### 準備と確認

安全上の注意 .....	2
使用上の注意 .....	7
各部の名称 .....	8
準備 .....	11

#### 使いかた

使いかた .....	13
お手入れ .....	17

#### こんなときには

お困りのときは .....	24
仕様 .....	27
保証とアフターサービス .....	27
保証書 .....	裏表紙

#### 保証書付き (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

この商品は海外ではご使用になれません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

# 安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。  
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

## 図記号の意味



注意を促す記号  
です。



禁止を示す記号  
です。



必ず行うことを示す  
記号です。



### 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う  
おそれがある内容を示しています。

## 電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り  
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原  
因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む  
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセ  
ントから抜く  
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない  
感電・やけど・けがの原因になります。

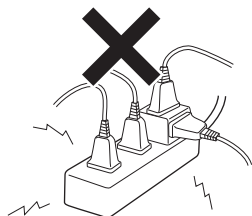


- 交流100V以外では使わない
- 海外で使用しない  
火災・感電の原因になります。  
本製品は日本国内専用です。船舶の電源や発電機、電圧の異なる  
海外の電源では使用しないでください。
- 電源コードを傷付けない
- 電源コードを引っ張らない  
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いも  
のを載せる、挟み込むなどしないでください。  
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

## 電源プラグ・電源コードは正しく使う つづき



- 電源コードをコンセントから抜くときは、コードを無理に引っ張らない  
電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷し、火災や感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない  
ショートによる火災や感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。
- こどもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない  
けがや感電の原因になります。
- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない  
火災の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く  
発煙・火災・感電のおそれがあります。

### 〔異常の例〕

- 異常な音やにおいがする
  - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
  - 使用中、時々電源が切れる
  - 触れるとピリピリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない  
火災・感電・けがの原因になります。  
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。

# 安全上の注意 つづき



- 屋外で使用しない  
火災の原因になります。



- 隙間や蒸気吹き出し口から指や金属などの異物を入れない  
感電・やけど・けがなどの原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない  
感電・やけど・けがなどの原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤・整髪料・潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない  
発火・火災の原因になります。



## 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生する内容を示しています。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない  
発火・火災の原因になります。



- 上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない  
転倒によるけがや火災の原因になります。



プラグを抜く

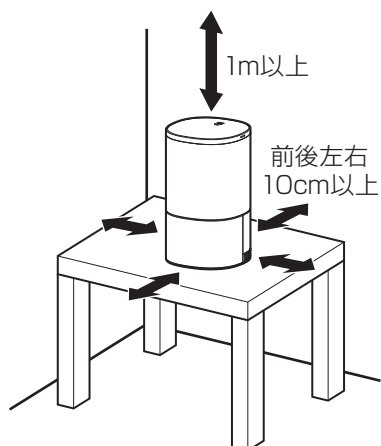
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く  
火災・感電の原因になります。

## 設置について



- 加湿された風が、壁・家具・カーテン・電気製品などに直接当たらないところに設置する
- 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける

壁・家具・カーテンなどの汚損の原因になります。また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。蒸気吹き出し口は、家具や壁、カーテン、電気製品などの方向へ向けないでください。



- 水平で安定した台の上で使用する

床ぬれのおそれがありますので、必ず台の上に設置してください。毛足の長いカーペットやふとんの上などに設置すると、転倒して周囲の汚損の原因になります。また、吸気口がふさがれ、蒸気が出にくくなることがあります。不安定な台や、高いところに設置すると、落下してけがや家財の破損の原因になります。



- 暖房機・ホットカーペットなど、電気製品の上に設置しない  
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。



- 水タンク・ふたを正しく取り付ける
- ふたは必ず取り付けて使用する  
水もれや周囲の汚損の原因になります。



- 蒸気吹き出し口や吸気口をふさがない  
蒸気吹き出し口をタオルやカーテンでふさがないでください。また、吸気口がふさがれないように加湿器の下に毛足の長いマットなどを敷かないでください。水もれや過熱の原因になります。

# 安全上の注意 つづき

## 水タンク・本体内の水について



### ● 毎日新しい水に取り替える

水タンクは毎日洗い、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発生したり健康を害する原因になります。

### ● 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンクおよび本体内の水を捨てる

水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。

### ● 凍結しそうなときは、水タンクおよび本体内の水を捨てる

凍結すると、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。



### ● 水道水以外は使用しない

40℃以上の水・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。

かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。



### ● 本体内部に水が入ったまま本体を移動しない

本体内部に水が入った状態で移動すると、斜めになったときに水がもれて周囲の水ぬれの原因になります。

移動するときは、水タンクを取り出して本体内部の水を捨ててください。

### ● 転倒させない

水もれや火災の原因になります。

転倒して水がもれたときは、十分に乾燥させ、安全を確かめた上で使用してください。

万一電源が入らない場合は、アイリスコールにご連絡ください。

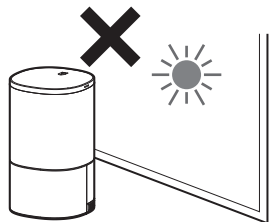


### ● 移動するときは、本体を下から持つ

水タンクに水が入っているときは、先に水タンクを取り出してから移動させてください。水もれや周囲の汚損の原因になります。

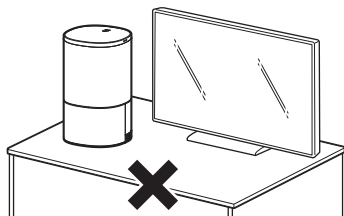
# 使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しない  
変形・変色したり、誤動作することがあります。



- ベンジンやシンナーで拭いたりしない  
破損・故障の原因になります。

- ラジオやテレビに近づけない  
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- スピーカーやIH調理器(電磁調理器)など磁気の出る機器の近くには置かない  
正常に動作しないことがあります。

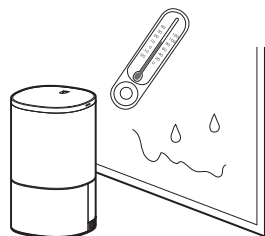
## 使用環境について

- 室温は5～35℃で使用してください。

室温が低いと床ぬれや結露が起りやすくなります。  
加湿設定ボタンでこまめに加湿量を調節したり、室温を上げたりして使用してください。

窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。

また、水道水中のミネラル成分が家具やテレビなどに付着後乾燥し、白い粉のようになることがあります。  
有害ではないので、タオルなどで拭き取ってください。



- 加湿のしすぎによる床ぬれや結露に注意してください。  
部屋の環境に注意しながら、こまめに加湿量を調節してください。
- エアコンや暖房器具の風が当たる場所、ドア付近(※)などは避けてお使いください。

湿度の感知方法・構造などの違いにより、市販の湿度計と本製品の現在湿度が異なることがあります。また、空気の流れが良い場所と悪い場所、床や畳などの低い場所と床から離れた場所などは湿度に差があるので、現在湿度の表示は異なります。

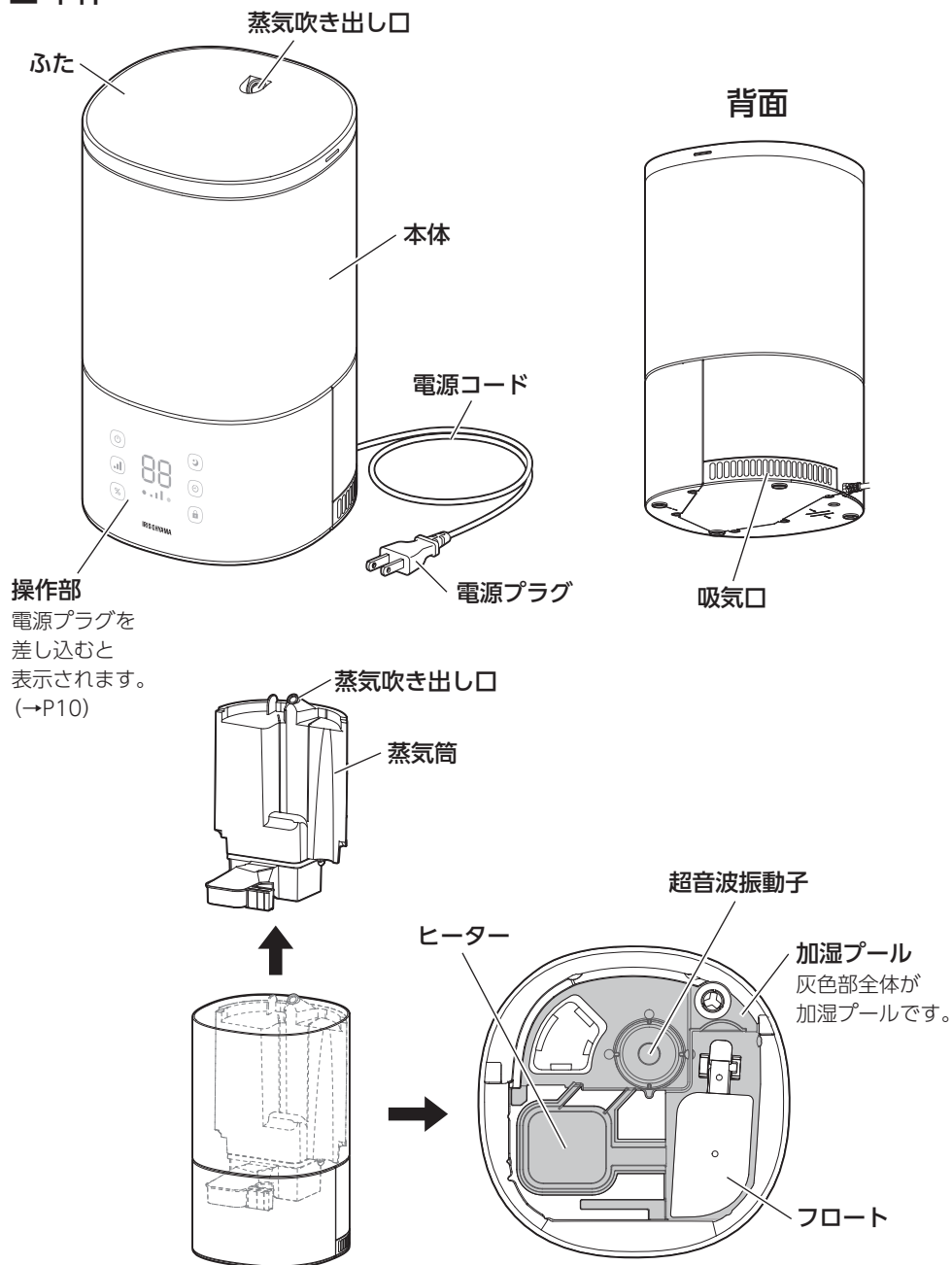
※ ドアの開閉によっても、湿度が安定しません。

## 廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

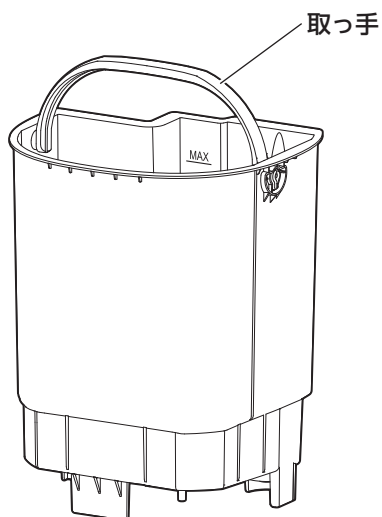
# 各部の名称

## ■ 本体

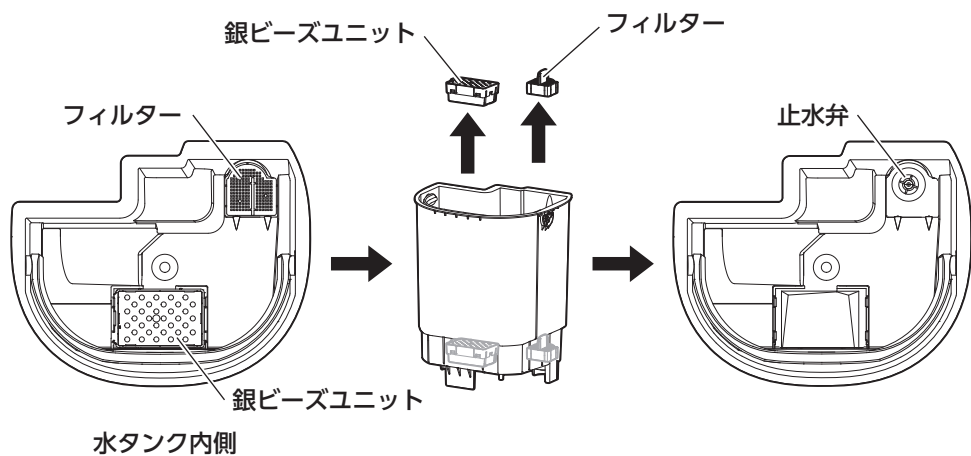




## ■ 水タンク



水タンク



# 各部の名称 つづき

## ■ 操作部

### 電源ボタン

ボタンを押すと電源が入り、運転を開始します。運転中にボタンを押すと、電源が「切」状態になり、運転が停止します。(→P13)



### 湿度設定ボタン

湿度の設定をするときに使います。(→P14)

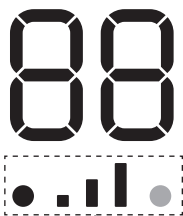
### 加湿設定ボタン

加湿モードの設定をするときに使います。(→P13)



### 表示部

現在の湿度の目安を表示します。



### おやすみモードボタン

ボタンを押すと表示部のLEDが消灯(加湿モードのみ表示)します。(→P15)



### チャイルドロックボタン

チャイルドロックの設定をするときに使います。(→P14)

### 切タイマーボタン

切タイマーを設定するときに使います。(→P15)

- 給水マーク：水タンクが空になると赤色に点灯し、運転を停止します。水タンクに給水してセットすると消灯します。(→P16)
- ■ ■ 加湿モードマーク：加湿モードを表示します。(→P13)
- チャイルドロックマーク：チャイルドロック設定中に点灯します。(→P14)

# 準備

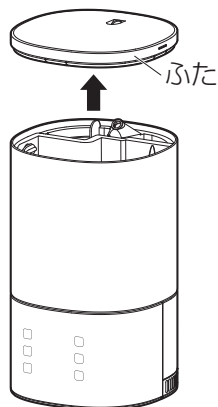
## 1 水タンクに水を入れる

①ふたを取り外す。



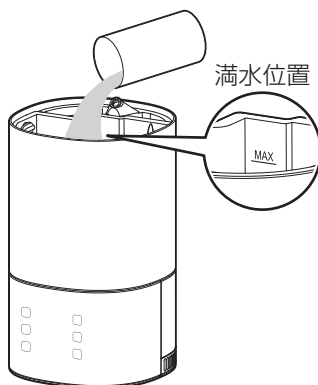
水タンクに水を入れるときは、必ずふたを取り外してください。

※使用後はふたの裏に水滴がついているので、水タンクの上で水滴を落としてください。

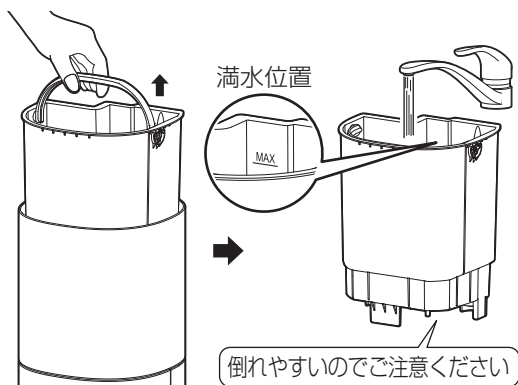


②水タンクに水道水を入れる。

・水タンクをつけたまま  
→コップなどで入れる。



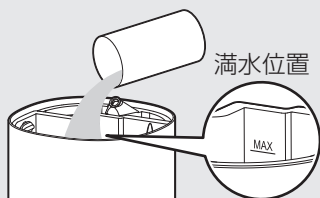
・水タンクを外して  
→蛇口から水タンクに直接入れる。



準備と確認

### ！ 注意

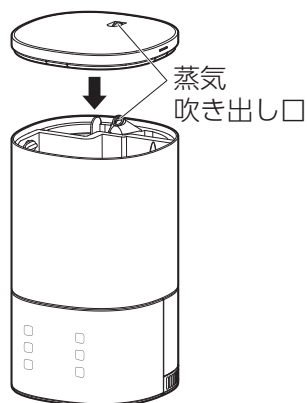
- ・ 満水位置 (MAX) より水を多く入れないでください。水もれや故障の原因になります。
- ・ 水タンクを外して本体に水を直接入れないでください。水もれや故障の原因になります。誤って入れた場合は、必ず水を捨て、水タンクを使用してください。



# 準備 つづき

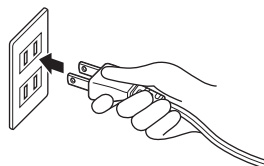
## 2 ふたを取り付ける

蒸気吹き出し口を合わせて取り付けてください。



- 必ず水道水を使用してください。40℃以上の水・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
- 水に薬品・香料・精油などを入れないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。

## 3 電源プラグをコンセントに差し込む



# 使いかた

## ■ 運転を開始する

 を押すと電源が入り、運転を開始します。

- 水タンクが空の場合は、ブザーが3回鳴り、給水マーク ● が赤色に点灯します。水タンクに給水してセットすると、加湿がスタートします。

### ポイント


使用後コンセントを抜かず、再び使用すると前回の設定で運転を開始します。

## ■ 運転を停止する

 を押すと電源が「切」状態になり、運転を停止します。

- ・ 運転停止後も冷却のため、しばらく蒸気・風が出ます。
- 長期間使用しないときは水タンクと本体内の水を捨ててください。(→P18)

## ■ 加湿モードの切り替え

 を押すたびに、加湿モードが右のように切り替わります。



準備と確認

## ■ 床ぬれ防止機能

部屋の湿度が高いと結露により、床に水滴が生じること(床ぬれ)があります。部屋の湿度によって自動で加湿量を調整します。蒸気の量が減ることがありますが、故障ではありません。

### ポイント

必ず床ぬれを防げるわけではありません。室温が低い場合は暖房を使用したり、湿度設定(→P14)を行ってください。

使いかた

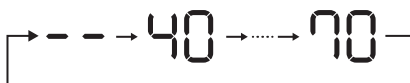
# 使いかた つづき


## ■ 湿度設定



お好みの湿度に設定して、自動運転をすることができます。

 を押して設定します。


- ・ 40～70%の範囲で、5%単位で設定できます。
- ・ 設定したい湿度を表示させ、表示が3回点滅するとブザーが鳴り、設定が決定されます。



※ 設定を取り消す場合は、 に設定してください。

  設定なし(連続モード)

 ポイント


加湿中に設定した湿度を確認するときは、再度  を押してください。

- 周囲の湿度が設定に達すると、自動で加湿運転を停止し、待機状態になります。(ファンは停止しません。蒸気吹き出し口から風が出ます。)
- ※ 設定値より周囲の湿度が5%下がると、自動で運転を再開します。

本製品に搭載されている湿度センサーと、お部屋の湿度計では感知方式や構造の違いにより、相違が生じることをあらかじめご了承ください。

## ■ チャイルドロック


チャイルドロックを設定すると、ボタンの操作ができなくなります。

 を2秒長押しすると、チャイルドロックの設定／解除ができます。

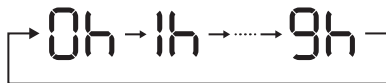
- ・ チャイルドロックを設定すると、チャイルドロックマーク ● が点灯します。
- ・ チャイルドロック設定時は、電源「切」の操作のみできます。

## ■ 切タイマー

設定した時間動作した後に運転を停止し、自動的に電源を切ることができます。

 を押すたびに、時間が切り替わり、切タイマーがスタートします。


- 1～9時間の範囲で、1時間単位で設定できます。
- 設定したい時間を表示させ、表示が3回点滅するとブザーが鳴り、設定が決定されます。



 設定なし(連続モード)

※切タイマーの設定を取り消す場合は、**0h**に設定してください。


 **ポイント**


加湿中に残り時間を確認するときは、再度  を押してください。

- 設定した時間が経過すると、運転を停止して電源が切れます。
- 切タイマー設定前に、水タンクの水量を確認してください。水量が少ないと、設定時間前に運転が停止することがあります。

## ■ おやすみモード

おやすみモードにすると、表示部のLEDを消灯することができます(加湿モードのみ表示)。就寝時などに使用してください。

 を押すと、表示部のLED表示が暗くなり、3回点滅して加湿モード以外のLED表示が消灯します。

- 再度  を押すと、**おやすみモード**は解除されます。  
表示部のLED表示が3回点滅して、表示部のLED表示が元通り点灯します。

※ **おやすみモード**作動中は、湿度設定・切タイマーの操作はできません。  
※ **おやすみモード**作動中に切タイマーや空焚き防止機能がはたらいても、ブザーは鳴りません。その他の問題が起きた際のエラー表示とブザー音は作動します。

# 使いかた つづき

## ■ 空焚き防止機能

水タンクの水がなくなると、ブザーが3回鳴り、**給水マーク ●**が赤色に点灯して運転が停止します。(他の表示は消灯します。)

停止後3分間はファンが動作し続けます。

- ・ 水タンクに給水し(→ P11) 本体にセットすると、運転を再開します。(給水マーク ● は消灯します。)

### ! 注意

- ・ 加湿プール内に水が残っているときは、水タンクを取り外しても、給水マーク ● は点灯せず、運転は停止しません。運転したまま水タンクを取り外すと、周囲の水ぬれや水温が上がっているためやけどのおそれがあります。



### ポイント

水タンクを取り外す場合は、電源を「切」状態にしてください。

電源が入った状態で水タンクを外すと、加湿プールの水位が変動し、一時的に給水マーク ● が消え、蒸気が出ることがあります。製品の異常ではありません。



# お手入れ



●お手入れは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

**注意**

●電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。

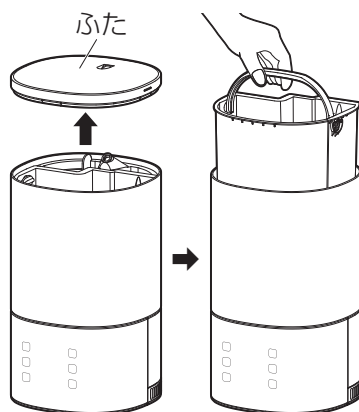
●シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

## ■ 水タンク 使うたび

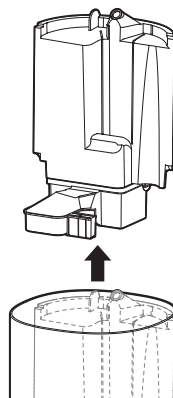
### ■ ふた 汚れ具合に応じて

#### 1 ふたを取り外し、取っ手を持って水タンクを取り出す

取り出すときは、ふたの裏・水タンク底面に付いた水滴にご注意ください。



#### 2 本体から蒸気筒を取り外す



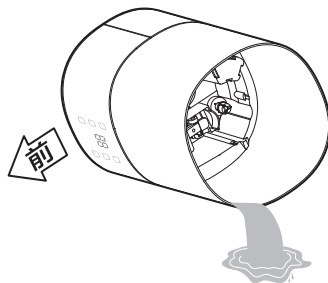
使いかた

# お手入れ つづき

## 3 水タンクと本体の水を捨てる

- 本体の水を捨てる時は、必ず蒸気筒を外し、図の方向から捨ててください。
- 電源プラグに水がかからないようにご注意ください。

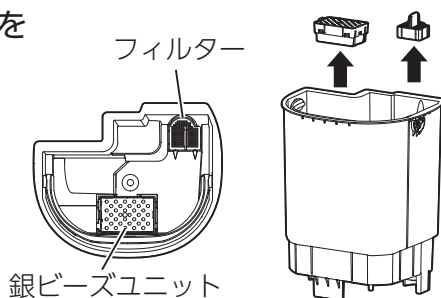
※ 本体の外側についた水気は拭き取ってください。



注意

- 本体の手順や排水方向を間違えると、製品内部に水が浸入し、故障のおそれがあります。
- 電源を切った直後は、ヒーター周辺の水が熱くなっている場合があるため、手が触れないように注意してください。

## 4 フィルターと銀ビーズユニットを取り外す

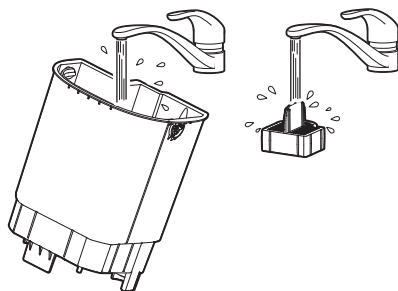


## 5 水タンク・フィルターを流水で洗う



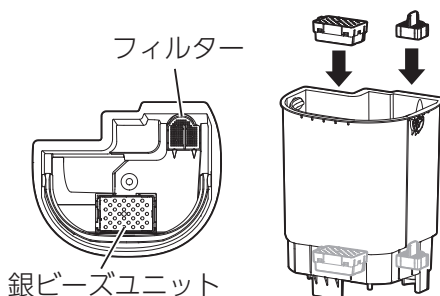
ポイント

ふた(蒸気吹き出し口)、銀ビーズユニットは汚れ具合に応じて洗ってください。  
(銀ビーズユニット→P22)



## 6 フィルター・銀ビーズユニット を水タンクに取り付ける

- ・ フィルターは向きを合わせて、奥までしっかりとはめてください。
- ・ 銀ビーズユニットは上から真つすぐ差し込んでください。



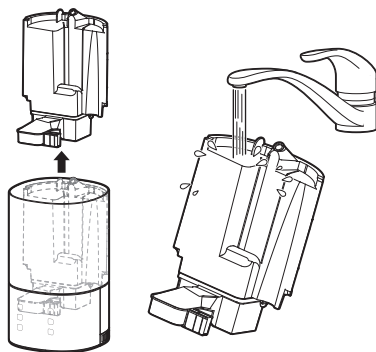
### ！ 注意

フィルターは必ず取り付けてください。  
止水弁に汚れが付着すると水タンクから水がもれるおそれがあります。

## 7 蒸気筒・水タンク・ふたの順に取り付ける

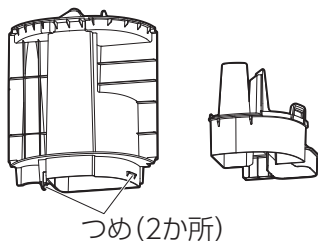
### 蒸気筒 2・3日に1回

本体から取り外し、水洗いをして乾燥させる。



### 👉 ポイント

蒸気筒下側のパーツも取り外せます。  
月に1回の頻度で取り外して洗ってください。



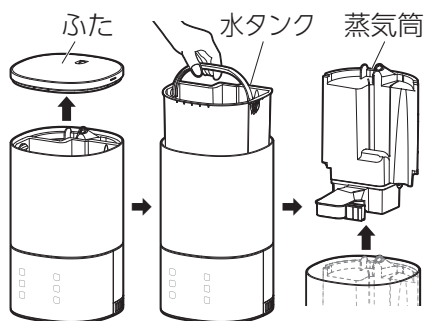
使  
い  
か  
た

# お手入れ つづき

## ■ 本体 1週間に1回

### 1 ふたを取り外し、本体から水タンク・蒸気筒を取り出す

取り出すときは、ふたの裏・水タンク底面に付いた水滴にご注意ください。

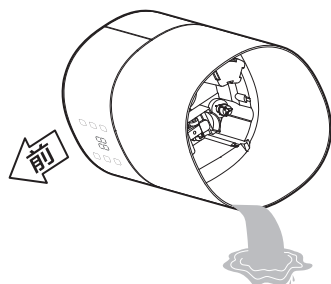


### 2 水タンクと本体に残っている水を捨てる



#### ポイント

本体の水を捨てるときは、必ず蒸気筒を外し、図の方向から捨ててください。



### 3 お手入れをする

#### 【本体 (内側)】

外側に水がかからないよう、やわらかいスポンジなどで洗ってください。

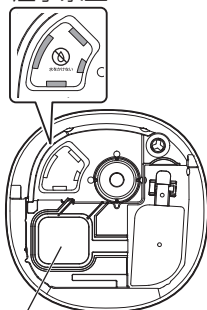
#### 【ヒーター】

ヒーターの表面についた汚れをやわらかい布で拭き取ってください。

#### ⚠ 注意

- 使用後はヒーターが熱くなっているため、やけどのおそれがあります。十分に冷ましてからお手入れをしてください。
- 穴部 (右図の灰色部) は注水禁止です。火災や感電の原因になります。

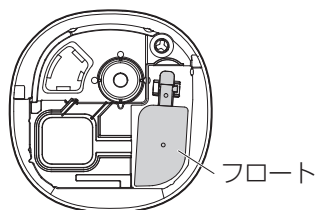
#### 注水禁止



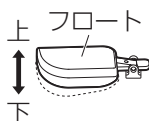
ヒーター

### 【フロート】

水またはクエン酸水溶液 (→P22) を入れ、  
すすぎ洗いをしてください。



フロートが上下にスムーズに動くことを確認してください。

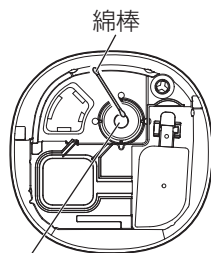
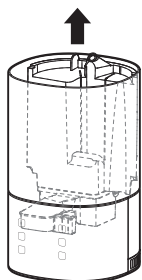


### 【超音波振動子】

綿棒などでやさしく掃除してください。

#### ⓘ 注意

超音波振動子に汚れや傷が付くと、加湿  
量が低下したり、加湿しなくなったりし  
ます。



超音波振動子

## 4 蒸気筒・水タンク・ふたを取り付け、 やわらかい布で拭く

・水気をよく拭き取ってください。



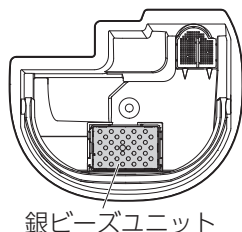
# お手入れ つづき

## ■ 銀ビーズユニット 1か月に1回

1 ふたを取り外し、本体から水タンクを取り出す  
水タンクに残っている水を捨てる

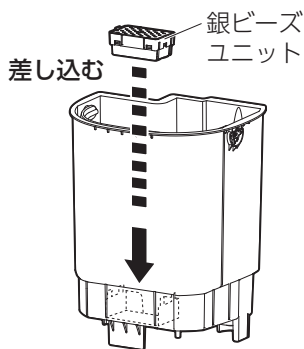
2 水タンクに銀ビーズユニットが浸る量のクエン酸水溶液を入れ、2～5分置いてから水で洗い流す

※ 銀ビーズユニットから白い粉や黒い粉が落ちることがありますが、性能や使用上の問題はありません。



### 👉ポイント

銀ビーズユニットを外したときは、上から真っすぐ差し込んで取り付けてください。



### クエン酸水溶液の作りかた

水かぬるま湯 (40℃以下) に以下の比率で加え、よく溶かしてください。

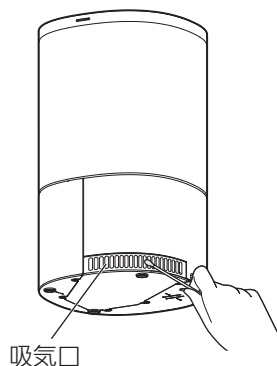
- クエン酸水溶液：水3Lあたり、市販のクエン酸20g (または大さじすりきり2杯)

※ 濃度が高いと、破損の原因になります。

## ■ 吸気口 定期的に

吸気口にほこりがつまると加湿されることがあります。本体のお手入れをする際に確認してください。

綿棒ややわらかい乾いた布などを使用して、ほこりを拭き取ってください。



## ■ 長期保管をするときは

お手入れをして、よく乾燥させてから保管してください。汚れや水分が残ったまま長期保管すると、悪臭やかびなどが発生する原因になります。

- 銀ビーズユニットは、保管する前に約 1 週間ほど自然乾燥させてください。
- 購入時の箱に入れるか、ポリ袋などをかぶせ、高温多湿の場所を避け、立てて保管をしてください。

# お困りのときは



使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

こんなとき	ご確認ください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない。 →電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。</li></ul>
加湿されない (給水マーク●が点灯)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 水タンクの水を使い切った。 →水タンクに給水してください。(→P11)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● フロートの動きが悪い →フロートがスムーズに動くか確認してください。(→P21)</li></ul>
加湿されない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 設定湿度に達している。 →設定湿度に達したときは加湿を停止し、設定湿度を下回ると加湿を再開します。連続で加湿したいときは、湿度設定を <b>--</b> にしてください。(→P14)</li></ul>
蒸気の量が少なくなった	<ul style="list-style-type: none"><li>● 湿度が高くなっている。 →周囲の湿度が高いと床ぬれ防止のため、自動で加湿量を少なくします。室温を上げたり、換気を行ってください。(→P13)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 毛足の長いカーペットの上に置いている。 →水平な台の上に置いてください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 超音波振動子が汚れている。(水あかなどが付着している) →綿棒で、超音波振動子の掃除をしてください。(→P21)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 蒸気筒の蒸気吹き出し口が汚れている。(水あかなどが付着している) →蒸気筒のお手入れをしてください。(→P19)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本体内部の水位が高い。 →電源プラグを抜き、水タンクのフィルターを外して止水弁にごみがつまっていないか、水タンクに破損がないか確認してください。 →本体内部の水をすべて捨て、再度水を入れ直してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 水が汚れている。 →本体内の水を捨てて、流水で洗ってください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本体に直接水を入れている。 →本体内部の水を捨てて、必ず水タンクに水を入れて使用してください。</li></ul>



こんなとき	ご確認いただきたいこと
蒸気の量が 少なくなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 吸気口にほこりがつまっている。 →吸気口のほこりを取ってください。(→P23)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヒーターが汚れている。(水あかなどが付着している) →ヒーターの表面についた汚れをやわらかい布で拭き取ってください。(→P20)</li> </ul>
においがする	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体内部や水タンク内部が汚れている。 →本体や水タンクのお手入れをしてください。(→P17～23)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水タンク内の水が古くなっている。 →本体と水タンクの水を捨て、お手入れして、新しい水を入れてください。</li> </ul>
湿度が 上がらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 部屋が適用床面積より広すぎる。 →適用床面積以内で使用してください。(→P27)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 窓やドアが開いている。 →窓やドアを閉めて使用してください。</li> </ul>
床がぬれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 室温が低い。 →深夜など室温が低いと床ぬれが起こりやすくなります。暖房などと併用して使用してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 床の上で使用している。 →床の上に直接設置すると床ぬれが起こりやすくなります。水平で安定した台の上などに設置してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 連続運転で加湿している。 →部屋の湿度が高い時に加湿し続けると、床ぬれの原因になります。湿度設定をすることで、加湿のし過ぎを防げます。</li> </ul>
水がこぼれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水タンク・本体内に水が入ったまま移動した。 →移動するときには、先に水タンク・本体内の水を捨ててください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水タンクを、勢いよく取り外し・取り付けした。 →水タンクについた水が飛び散ることがあります。水タンクはゆっくり取り出してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フロートがきちんと動いていない。 →フロートが正しく動かないと給水が止まらず、水があふれる原因になります。</li> </ul>

# お困りのときは つづき



こんなとき	ご確認いただきたいこと
風だけが出る	● 電源が「切」状態になったり、湿度設定で蒸気を出さない場合、しばらくの間風だけが出ます。
操作パネルに湿度が表示されない	● おやすみモードになっている。 →  を押して、解除してください。(→P15)
ボタン操作ができない	● おやすみモードになっている。 →  を押して、解除してください。(→P15)
製品が誤作動する	● お手入れの際に、排水方向を間違えた。 → 風通しのよい場所で、製品内部を乾燥させてください。(→P20)
動作しない E1 の表示	● センサーが異常を検知している。 → アイリスコールへお問い合わせください。
動作しない E3 の表示	● 吸気口にほこりがつまっている。 → 電源プラグを抜き、吸気口のほこりを取ってください。 → 再度電源を入れ直してください。
電源の「切」以外の操作ができない	● チャイルドロックが設定されている。 → チャイルドロックを解除してください。(→P14)

## それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコールへお問い合わせください。



**警告** ● ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

長年ご使用の加湿器の点検を！	
<p><b>愛情点検</b></p>  <p>こんな症状はありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする</li> <li>● 本体に触れるとビリビリ電気を感じる</li> <li>● 水もれする</li> <li>● 運転中に異常な音がある</li> <li>● 電源コードが傷ついている</li> <li>● その他の異常や故障がある</li> </ul> <div style="text-align: right;">  </div>

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

# 仕様

電源	AC100V 50 / 60Hz
最大加湿量(強モード)	550mL / h
定格消費電力	最大300W (最小0W)
連続加湿時間	約7時間(強運転時) / 約19時間(弱運転時)
適用床面積(目安) ※1	木造和室: 15㎡(9畳)、プレハブ洋室: 25㎡(15畳)
タンク容量	約3.8L
製品寸法	幅211×奥行211×高さ359mm
製品質量	3kg
付属品	銀ビーズ

※1 最大加湿量で連続加湿した場合。適用床面積は、保証値ではありません。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります

## 保証とアフターサービス

必ずお読みください。

### ■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

### ■ 保証期間

保証期間は、保証書(裏表紙)に記載されている期間です。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

### ■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

### ■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

# 上給水ハイブリッド加湿器 AHM-HU55A

## 保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間	お買い上げ日より：1年間
お客様	お名前		住所・店名
	ご住所 〒		
	電話 ( ) -	※販売店	電話 ( ) -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

### 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
  - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
  - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
  - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
  - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
- ⑤お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
- ⑥本書の提示がない場合
- ⑦本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

### 修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。  
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

## アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

### お客様サポート

24時間365日  
Web即時回答サービス



### 専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ  
公認通販サイト



製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール **0120-311-564**

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

修理に関するお問い合わせ（通話料無料）

修理専用コール **0800-170-7070**

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。